

太陽 SUN

私たちが暮らしている地球の表面は、太陽の働きでよく暖められて、私たちが生活しやすい環境になっています。

しかし一方では、太陽の光に含まれる紫外線を多量に浴びるとガンなどの病気になることもあります。

今回は、私たちの暮らしや健康に大きく関係している「太陽」について考えてみましょう。

太陽の恵み

◇植物の光合成の源

植物の活動エネルギーや栄養分、私たちの生活に必要な酸素を作っています。

◇動物の体温を調整

太陽の熱がなければ多くの動物が体温を上げることができません。

◇地球上の水を循環

太陽の熱により海水の水分が蒸発し、上空で雲となりやがて雨となって地上に降り注ぎます。

オゾン層と紫外線

地上から上空約50km位までを成層圏と呼びます。その中に太陽から降り注ぐ有害な紫外線を吸収するオゾン層があります。フロンによるオゾン層破壊や大気汚染、天候などによって紫外線が多量に地上に降り注ぐと、皮膚ガンや白内障等の病気になることもあります。

しかし、紫外線は、カルシウム代謝に必要なビタミンDを皮膚で合成する手助けもします。

最適な紫外線量には個人差があり、上手に紫外線とつきあっていくことが大切です。

【参考：環境省紫外線環境保健マニュアル、eco検定公式テキスト】



紫外線対策

1. 衣服で覆う。
2. 首まで隠れる帽子をかぶる。
3. サングラスを利用する。
4. 日陰を利用する。
5. 日傘を使う。
6. 日焼け止めクリームを上手に使う。

【参考：環境省 紫外線環境保健マニュアル】

●環境省より紫外線対策について紹介しています。

【環境省 紫外線環境保健マニュアル】 http://www.env.go.jp/chemi/uv/uv_manual.html

地球温暖化防止対策の一環として、クリーンなエネルギーである太陽光を利用して、かごしま環境未来館と鹿児島市では以下のような取り組みを行っています。

環境未来館では太陽光を使って・・・

太陽光発電

未来館の屋上では、最大出力40kwの太陽光パネルを設置して、太陽光発電を行っています。発電した電力は、館内の空調や照明の一部に活用しています。また、未来館入口にモニターを設置していますので、いつでも発電量や運用効率を確認することができます。

その他、駐車場等の外灯にも風力・太陽光ハイブリッド外灯を採用しています。



太陽光発電を設置する人に対して・・・

住宅用太陽光発電システム補助制度

■ 鹿児島市

【対象者】

鹿児島市内の自ら居住する住宅に発電システムを設置する人又は市内に発電システム付きの住宅を購入する人で、平成22年3月末日までに補助事業実績報告書を提出できる人（法人は対象となりません。）

（問い合わせ先） 鹿児島市環境保全課【TEL：099-216-1297】

【補助単価】

発電出力1kW当たり4万5千円

【補助上限】

設置する発電出力のうち3kW（13万5千円）まで

■ 国（経済産業省） ※上記の鹿児島市分とは別に補助を受けることができます。

【対象者】

自ら居住する住宅に発電システムを新たに設置する個人で、電灯契約をしている人

（問い合わせ先）

財団法人鹿児島県住宅・建築総合センター【TEL:099-224-4539】

【補助金額】

太陽電池モジュールの公称最大出力1kWあたり7万円

【補助上限】

最大出力が10kW未満で、かつシステム価格が70万円（税抜）/kW以下であること。

グリーン電力証書制度

鹿児島市内の家庭に設置されている太陽光発電で作られた電気のうち、自宅で使った分の環境価値を鹿児島市が1kwhあたり20円（年間30,000円限度）で買い取ります。

※平成20年4月以降に太陽光発電を設置された方で、検定付メーターを設置できる方が対象です。

（問い合わせ先） 環境ネットワーク鹿児島【TEL：099-299-2700】

